



しんぺい通信

Vol.5

川上しんぺい市政報告

発行責任者
川上しんぺい

〒811-0321
福岡市東区西戸崎6-2-7
☎ 092-603-6815
Fax 092-603-6825

真の「自学」・「立志」を目指して。

平成21年第五回定例議会(平成21年12月17日)において、川上しんぺい議員は自民党市議団を代表して(1)道路整備の状況。(2)スポーツ施設の整備。(3)公教育の責任。の三点について質問を行った。なかでも最近、しんぺい議員が特に危惧している「公教育」のあり方について、質問の一部を抜粋し、しんぺい議員の考えを掲載する。

市教育委員会では本年「新しいふくおかの教育計画」を策定されました。ここでは、目指す子ども像が「基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ志を持ち、心豊かにたくましく生きる子ども」と掲げ、本市の未来を育てる方向が示されており素晴らしい計画だと思えますが、果たして今の公立学校の現場が本当に自ら学ぶ意思を持ち、心豊かにたくましく生きる子どもが育つようになっているのでしょうか。



代表質問を行うしんぺい議員

位が揭示されたり、それとは別に業者テストが年に数度行われ、クラス内・学校内・福岡県内の結果順位と偏差値、志望校への合格判定が5段階で示され自分の学力を客観的に知ることができ、自学の方法

や目標に向けての確認をすることができました。

現在の公立中学校では業者テストは廃止され、子どもたちは自分の学力を客観的に知る物差しを失い、志望校を選択することも志望校に向けてどれくらい努力をすべきかということも分からなくなっていると言われます。業者テストの廃止の理由は過度な受験競争や不本意入学による、高校中途退学等の問題が出たからとのことですが、それで業者テストが無くなると受験競争がなくなったのでしょうか。本年度初めの本市の子どもたちの通塾率は、小6で45%、中3で67%ということと、3年生の部活が終わった今はもっと増えていることが予想されます。家庭教師や通信指導などをやっている子どもたちもいるということと、かえって受験競争が過熱しているように思われます。それどころか、学校で相対的な学力を知ることができなくなったために、塾などに行かなければならなくなったのではないのでしょうか。中途退学の割合も廃止前と変化はないようです。

我輩は犬である。熊ではない。名前はチャドと言う。最近、ふと気付いたことがある。どうやら我輩は左利きなのかもしれない。



チャドの散歩径(五)

を思い出したのだ。あれは我輩が左利きだったのだ。左手を刺されたのだと納得したのである。そこで、近所の犬友達に聞いてみると、彼らもやはり左利きだったのだ。ある実験によると、犬の8割は左利きだそうである。因に、犬は四本足なので腰痛は少ないが、いつも御主人さまを見上げているので肩が凝るのである。

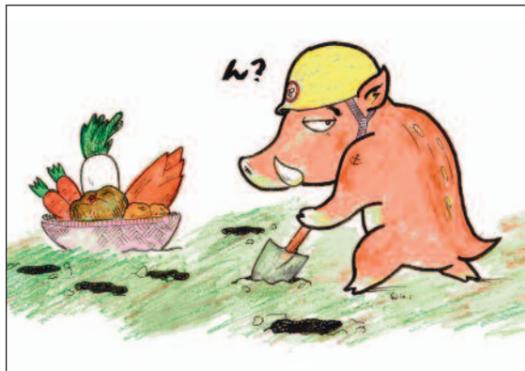
【茶】

【和】

イノシシはなぜか...

近頃、よくイノシシの被害を見聞きしますが、畑を荒らされない工夫や、山ではぼったり遭遇した時(しないための)の対策を考えてみましょう。

よくある失敗例では、畑に入られないように張った網などを押えるために、大きな石を置くのは



「ん？何か問題でも？」

「長谷」紀行



昔、東区の東部に三日月山と城ノ越山に抱かれた、細く長い谷がありました。谷の名を「長谷」と言いました。

谷は、春にはヤマザクラの花、夏には木々の緑がそれは眩しいばかりに輝き、秋になると紅葉が、紅や黄色に谷を染め抜いてい



満々と水を湛える三日月湖と朱い橋

逆効果。石の下にはミミズなどの好物が棲んでいることを知っています。また、トタン板で田畑を覆う時には、畑の中が見えないようにすること。イノシシは臆病な性質のため、目の前に何があるか分からないようにすれば侵入することがないようです。

イノシシが里に下りて来るのは、山に食べ物が無いからではなく、里の食べ物が美味しいことを知っているからです。つまり、食べ物や畑の周囲に野菜クズを放置することも同様です。餌付けされた日光のサルのように大変なことになります。通常イノシシは臆病な動物なので、こちらから何かしない限り、突然襲って来ることはないようです。また、出会い

ました。沢沿いには、決して広くもない土地を何代にも回って大切に耕してきたであろう田畑があり、季節には豊かな実りを結んでいた谷でした。

歳月は過ぎ、ドライブをかねて三十数年ぶりに谷を訪れると、目の前には満々と水を湛えた大きな湖が広がり、その先に架かる朱色の橋が木々の緑とコントラストをなして目に飛び込んできました。谷は以前と面持ちを変え、一瞬場所を間違えたのかと思ったほどでした。

しかし、ノスタルジーに浸ろうと思つて訪れた谷が姿を変えてしまったことに驚いたのは、ほんのひと時で、その水面に映る山々の緑に昔の面影を見つけ、懐かしさが込み上げてきました。

そして、その湖の名が「三日月湖」で、その湖を作っているのが「長谷ダム」と言うことを知ったのは、それから間もなくのこと



イノシシに荒された芝生広場(東区某公園)

さらに、畑に寄せ付けない方法として、佐賀県武雄市などでは、イノシシの苦手な香りと比べられる、レモングラス(ハーブ)を畑の周辺に植える方法で成果をあげて注目されています。

【ごめんね待朗】



昭和63年～平成元年工事中当時の長谷

でした。イガ栗頭の少年が白髪の初老になって訪れた谷は私と同じく、姿は変わってもことごとく昔の面影を残していました。この秋には、また紅葉が谷を、そして湖を紅や黄色に染めることでしょう。

【和】



東区見聞録 ⑤ 現存する「名島びけ」

かつて筑前国の中心で、筑前国主の居城であった「名島城」。

この城を築城したのは毛利元就の三男で「毛利二本の矢」でも有名な小早川隆景。隆景はそれまでの筑前国の中心であった「立花城」(現立花山山頂)よりも領国統治に都合の良い、名島の出城に注目。天正十六年(一五八八年)大改築に着手、三方を海に囲まれた実践向きの堅城を築いた。以降城下は大いに賑わい、後年黒田長政が入国し「福岡城」(中央区舞鶴)を築くまで筑前国の中心だった。



木漏れ日の先にたたずむ舞鶴の「名島門」



舞鶴より一回り小さい崇福寺の名島城門

いる。所謂「名島びけ」と呼ばれるもので、現存する数少ない名島城の遺構である。

特に舞鶴の「名島門」は黒田二十四騎の一人、林掃部に下げ渡され、長らく邸宅の門として使用されていたものが、戦後現在地に移築されたものである。

いま、木漏れ日の先にひっそりと佇むその姿から、往時の名島城下の賑わいを偲ぶことは想像に難くない。

【和】

参考文獻
○「東区またまた再発見」
東区役所総務部企画課編集 発行
平成17年1月
○福岡市教育委員会「名島門」説明板

奈美のひとり言 ⑤



先日、おばさま仲間と話しているうちに、何となくワイシャツの話になったんですよ。その時に一人のおばさまが「ワイシャツのワイって何？」って聞くと、別のおばさまが「アルファベットのYやろもん。クリーニング屋にYシャツって書いてるろが」って言ったんですよ。へそ曲がりの私としては「何か違うんじゃないかって思って、ちよっと調べてみました。実はYシャツの語源は(White Shirt)だったんです。ホワイトがワイトとなつてワイ(Y)になったようなんですね。だからカラーシャツ(色付きの白シャツ)ってありえないんですよ。

よく似たことが、私たちの身近にもたくさんありそうです。

ところで、今の国政はいいたいどうなっているんですかね？ちよっと調べてみましょうか？何か出てきそうですよ。

【奈】

寄稿 コーナー ⑤

「アジサイの物語」



時の移ろいとは早いもので、ついこの前、ウメが咲いたかと思うと、足早にサクラの季節が通り過ぎ、ツツジやフジも終りました。気付くと六月、季節は初夏。これから盛夏を迎える僅か一月余りの梅雨の時期、ツツジやフジからバトンを受けた「アジサイ」が私たちの目を楽ませてくれます。

「アジサイ」不思議で素敵な響きを持つこの花の語源は、真青の花が集まって咲く姿から、集める「あじ」に、真青を意味する「さい(真藍)」が変化して「アジサイ」になったと言われています。日本語ならではの美しい響きですね。

そして、このアジサイにはもう一つの物語があります。この花はヨーロッパの花木と思われがちですが、実は由緒正しき日本原産の花木です。そして、この花を初めてヨーロッパに紹介したのが、あのシーボルトだということとは有名な話ですね。その時のアジサイは、今の手毬型の大きな花ではなく、ガクアジサイやコアジサイ、ヤマアジサイなど質素で可憐な花だったようです。そして、その姿に自分の恋人だった楠本滝の姿を重ねたシーボルトは、学名を(Hydrangea macrophylla ser. va Otakusa)と命名しヨーロッパに紹介しました。オタクサとは長崎の方言で「お滝さん」のことです。ロマンス溢れる話ですね。おまけにも一つ、この二人の子供が楠本。日本初の女医として有名な「オランダお稲」でした。彼女もまた、凛としたアジサイのような女性だったそうです。素敵な話ですね。【尻糞蔓くん】

おしゃべり、つなぐかん ⑤

海中大橋を雁の巣側から渡って照葉小・中学校に向う道路。あの道路はいつたいてい何時完成するの？車線が何度も変わり、その度に舗装をやり替え、側溝や縁石も取替え、路面表示も描き直す。私が数えただけでも4〜5回(地震復旧は除く)を下らない。

市の道路関連予算は大幅に削減されていると言いつのに、全く税金の無駄遣いである。しかも最新の舗装は「エコポ」である。行政はいつたいてい何をやっているんだ。

【東区 怒髪天】

川上しんぺい議員の

議会報告

- 1月21日~22日 都市問題等調査特別委員会
 - 2月1日 都市問題等調査特別委員会
 - 2月4~5日 第1回福岡地区水道企業団(定例会)
 - 2月12日 都市問題等調査特別委員会
 - 2月18日~3月26日 第1回福岡市議会(定例会)
 - 5月18日 第2回福岡市議会(臨時会)
- ※6月の第3回福岡市議会定例会において一般質問を予定しています。



可憐な花で埋めつくされた「さみどりひろば」

【和】

【和】

事務所からのお知らせ(五)

また、すでにボランティアの皆さんの協力で、秋の花壇作りの準備が行われています。暑い夏を乗り越えて、咲き乱れる秋の花々が、今からとても楽しみです。

川上しんぺい PROFILE

昭和46年 福岡市に生まれる

平成2年 福岡県立筑紫丘高校卒業

平成6年 中村調理師専門学校卒業

福岡大学人学(平成12年中退)

平成9年 (株)正興電機製作所入社

平成11年 福岡市議会議員初当選

平成15年 福岡市議会議員2期目当選

平成19年 福岡市議会議員3期目当選

社年ソフトボール校区大会にて

現在の主な役職・活動

- 第5委員会委員
- 都市問題等調査特別委員会運営理事
- 福岡地区水道企業団協議会議員
- 福岡市下水汚泥等有効利用研究会委員
- 水資源開発協議会委員
- 文化スポーツ振興推進協議会運営理事
- 都市圏研究会会員
- 福岡青年会議所(JC)会員
- 福岡和白病院評議員
- 中村専修学校評議員
- 福岡市東消防団西戸崎分団員
- NPO法人福岡どうぶつ会議所理事
- 西戸崎小学校PTA会長

編集後記

【和】